JTBグループが設立した専門学校で
自分らしいキャリアを描いてみませんか

JTB 感動のそばに、いつも。

2023年度
希望者就職率100%
うちJTBグループへ44%が就職

あなたのどんな「好き」も
ツーリズムのシゴトになる！

東洋大学を始めとする
観光系学部の大学への編入学

難関の国家資格
総合旅行業務取扱管理者
全国平均　約2.5倍の合格率

JTB海外支店などで実習ができる
グローバルな学び

学校法人 国際文化アカデミー
JTBツーリズムビジネスカレッジ
〒170-0002 東京都豊島区巣鴨3-2-12　TEL: 03-3910-5551
0120 FreeDial 0120-187-283
https://www.jtb-college.ac.jp
[Eメール] jtc@jtb-college.ac.jp

[昼間部]
国際観光ビジネス科
観光総合コース／グローバル・インバウンドコース
国際ホテル&ブライダル科

[留学生クラス]
国際観光ビジネス訪日科

[夜間部]
国際観光ビジネス デュアル科
国際観光ビジネス科

北海道大学 HOKKAIDO UNIVERSITY IMCTS
北海道大学国際広報メディア・観光学院
Graduate School of Internationl Media, Communication and Tourism Studies

観光について学びたい社会人に2つの選択肢！

choice 1
デスティネーション・マネージャー育成プログラム
DMOの中核人材育成のための最短1年間の社会人向け履修証明プログラム！
第9期（2025年度4月開講）
2024年12月募集開始予定

choice 2
大学院 国際広報メディア観光学院 修士／博士課程
社会人に魅力的な夜間、週末開講の講義も多数。社会人（経験者）の学生も多数！
後期入試募集要項
2024年 9月公開予定

資料請求
〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目
北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院 事務部 教務担当
TEL：011-706-5116 FAX：011-706-7801 Mail：nyuushi@imc.hokudai.ac.jp
HP：https://www.imc.hokudai.ac.jp

北海道大学大学院

観光立国を創造する

北海道大学（札幌市）は2007年4月に国立大学初の観光分野の大学院として国際広報メディア・観光学院を設置。これまでに16期721名の修士課程修了者と94名の博士号取得者を輩出している。

2019年度には従来の二専攻を「国際広報メディア・観光学専攻」として一専攻化。メディア研究と観光研究の融合を掲げ、SNSが旅行行動に与える影響、自治体による観光プロモーション戦略、アニメを通じた観光振興など、幅広い分野の研究が展開されている。

社会人向けには、修士課程と博士課程に加え、2017年度に履修証明プログラム「デスティネーション・マネージャー育成プログラム」を開設。国が進める日本版DMOの中核人材の育成を目的に、（株）JTB、エバー航空日本支社、（株）乃村工藝社、一般社団法人札幌観光協会、公益財団法人札幌国際プラザなど、観光の最前線で活躍する実務家教員による実践講習と大学院修士課程の各講義を組み合わせた多角的で専門性の高いカリキュラムが提供されている。

さらに、実践性の高い教育・研究の推進を掲げ、企業や自治体との連携も強化。美瑛町やニセコ町、（株）JTB、（株）北海道日本ハムファイターズ、ヤフー（株）との共同研究や教育連携も展開されている。

学生やプログラム受講生のバックグラウンドが多様なことも同専攻の特徴。北海道大学内部からの進学に加え、道内外の他大学からの進学も多い。留学生は、中国、台湾、韓国、インドネシアといったアジア各国・地域だけでなく、フィンランドやグアテマラなど、世界各国から観光とメディアの融合研究を志す学生が集まる。

また、北海道の雄大な自然を体感できる緑豊かなキャンパスでありながら札幌駅の目の前という全国でもトップクラスの交通利便性を確保。働きながら履修可能な夜間・週末開講やオンラインでの講義も充実し、旅行業、運輸業、宿泊業、自治体、DMOで現役で活躍する社会人学生も多い。

5G（第5世代移動通信システム）の登場による情報通信社会の進展、そしてウィズ・コロナの時代に定着しつつあるニューノーマル。メディアと観光の融合研究を展開する同大学院で新しい時代における観光のあり方について思考を巡らせたい。

現地での演習講義も豊富（北海道伊達市）

日本工学院専門学校

星野リゾートと教育連携

日本工学院専門学校の情報ビジネス科「ホテル・観光コース」は、星野リゾートと教育連携し、星野リゾートプロデュースによる独自のホテル・観光人材教育を行っている。

「サービスは覚えるものではなく、自分で発想し生み出すもの」という星野リゾートの理念を共有。「ホテルスタッフ専攻」「観光マーケティング専攻」「観光コーディネーター専攻」の三つの専攻を23年4月から新設し、スマートフォンの普及やライフスタイルの変化、インバウンドの拡大などにより、旅行のあり方が大きく変わりつつあるホテル・観光業界の未来を見すえた教育を展開している。

カリキュラムは日本工学院と星野リゾートが共同で開発。全体を星野リゾートがプロデュースしている。特徴的なのは、星野リゾートが長年にわたって培ってきたコミュニケーションやマーケティングのノウハウが惜しみなく盛り込まれていること。「BASIC」「コミュニケーション&マーケティング」「IT・就職・産学連携」の三つで構成されたカリキュラムを学ぶことで、次世代の観光人材に必要なスキルをしっかりと身に付けることができる。

授業では星野リゾート出身の教員らに加えて、星野リゾートのスタッフや観光業界で活躍中のスタッフが来校し、それぞれの専門分野を講義する。例えば「ブランドマーケティング」の授業では、ブランドとは何かを理解した上で、ブランドを生かしてサービスを売っていくにはどうすればよいかを学ぶ。「ブライダルビジネス」の授業では、ブライダル業界をマーケティングの観点から分析し、今後のトレンドにマッチする見せ方を学ぶ。また「接客サービス」の授業では、主客対等でもお客さまに応じて提案していく星野リゾート流の日本式おもてなしスタイル」を学ぶ。「ホテルIT経営」の授業では、ITを活用して業務を効率化する方法を学ぶ。

インターンシップ

フレッシャーズキャンプ

入学早々に行われるフレッシャーズキャンプは、例年「リゾナーレ八ヶ岳」で1泊2日の宿泊体験研修として実施。星野リゾートのスタッフから講義を受けたり、リゾナーレ八ヶ岳に勤務する卒業生の話を聞くことで、2年間の学習に対する意識を高めていく。

「リゾナーレトマム」「界 川治」「リゾナーレ八ヶ岳」など、星野リゾートが運営する全国各地の施設でのインターンシップも実施。毎年十名ほどの学生が星野リゾートの施設で現地スタッフと一緒に業務を実体験している。希望する学生全員が星野リゾートでのインターンシップに参加できる。

就職サポートでは、星野リゾートの人事担当者が来校。就職活動の心得や星野リゾートのコンセプトなどを紹介する就職セミナーなどを行っている。

星野リゾートの全面協力により観光人材育成を行っている日本工学院情報ビジネス科ホテル・観光コースだが、インターンシップ先、就職先はもちろん星野リゾートだけではない。

インターンシップでは、多数の国内有数ホテルと提携。これまでの受入れ先実績は、プリンスホテル、東急ホテル、小田急ホテル、インターコンチネンタル、東京ディスニーランドホテル、東京ディズニーリゾート・トイ・ストーリーホテル、JTBなどで、都内近郊ホテル、リゾートホテル、テーマパーク系ホテル、観光関連企業と多岐にわたる。

卒業生の主な就職先は、星野リゾートを筆頭に、ミリアルリゾートホテルズ、ホテル インターコンチネンタル東京ベイ、ザ・リッツ・カールトン東京、ウェスティンホテル横浜、ロイヤルパークホテルズアンドリゾーツ、プリンスホテル、東急ホテルズ、アパホテル、東京ドーム・リゾートオペレーションズ、住友不動産 ヴィラフォンテーヌ、京王プラザホテル、テラスホテルズ、トランクホテル、ひらまつなどとなっている。

JTBツーリズムビジネスカレッジ

第一線で活躍する即戦力育成

JTBツーリズムビジネスカレッジ（学校法人国際文化アカデミー）は、1982年にJTB創立70周年記念事業の一環として設立された専門学校。これまでの41年間の卒業生で、就職希望者の累計6886人のうち45%にあたる3099人がJTBグループに就職している。

JTBカレッジ外観

坂本友理校長は同校の特長について「ツーリズム産業の第一線で、実務の中核的存在として活躍できる即戦力の育成に力を注いでいます。ツーリズム産業は成長産業で、可能性は無限大。活躍の場がたくさんあります」と強調する。24年3月の卒業生も、希望者就職率は100%で、内訳はJTBグループ44%、運輸・空港・観光関連28%、宿泊施設24%、一般企業4%。ツーリズム産業就職率は96%にのぼる。

高い就職率の背景にあるのが国家資格の取得率。23年総合旅行業務取扱管理者合格率は20%、また国内旅行業務取扱管理者合格率は70%。それぞれ、全国平均7・9%の2・5倍、全国平均35・7%の2倍と高い合格率を誇っている。

観光系学部の大学への3年次編入も可能だ。2年間専門的に学んだ後、東洋大学国際観光学部に編入する道が用意されている。

海外のJTBグループ支店やホテルで学ぶことができる海外派遣制度も特徴的だ。航空運賃や宿泊費を全て同校が負担。学生は金銭面を気にせず、海外で約1ヵ月間、業務の実習や語学学習に打ち込める。

同校は24年4月、学校名を「JTBトラベル&ホテルカレッジ」から「JTBツーリズムビジネスカレッジ」に変更した。常務理事の鈴木良照総務部長は、その狙いと今後の展望について次のように話している。「新型コロナも落ち着き、人々の交流が復活。ツーリズム産業は今後ますます日本の成長発展の柱となることが期待されています。また、人々のライフスタイルのさまざまなシーンにツーリズムが関わっており、ニーズも変化しています。こうした流れを受けて当校は、裾野が広く多様で将来性のあるこの業界に即戦力として活躍できる人材を多面的に育成、輩出すべく、学校名を変更しました。観光、宿泊の実務や資格取得に限らず、これからのツーリズム業界に必要な〝最先端かつ実践的〟な知識やスキルを習得できる新たなカリキュラムを導入し、ツーリズム産業の成長発展と持続的な社会の実現に貢献してまいります」。同校では、中国、台湾、香港、韓国、ロシア、モンゴル、ベトナム、ミャンマーの八つの国・地域からの留学生が学んでいる。在校生は多様な留学生たちとの交流の中でグローバル感覚を身に付けながら成長している。

鈴木部長

蒲田キャンパス
情報ビジネス科
ホテル・観光コース
Produced by 星野リゾート
ホテルスタッフ専攻
観光マーケティング専攻
観光コーディネーター専攻
オープンキャンパス＋体験入学 開催中!
専門学校唯一、星野リゾートプロデュースによる人材育成カリキュラムを採用！

コンシェルジュ
フロント
ホテルイベントスタッフ
観光マーケティング
観光コーディネーター
ブライダルスタッフ
管理・営業

サービスを創り出すために必要な3つのスキルを軸に学ぶ

コミュニケーション
コミュニケーションスキルは、おもてなしの際だけでなく、チームで問題を解決する際や新しい発想を生み出す際にも必要となる重要なスキルです。授業では、星野リゾートのノウハウをベースに、ホスピタリティ、異文化理解などの多様な観点から、コミュニケーションを体系的に学びます。

マーケティング
マーケティングスキルは、一人ひとりがホテルや地域の魅力づくりを担えるようになるために、これからのホテル・観光業界では欠かせないスキルです。授業では、星野リゾートが行ってきたマーケティングの実例をもとに、ケーススタディを交えながら実践的にマーケティングスキルを磨きます。

IT
顧客満足度や生産性を高めるため、そして質の高い新たなサービスの実現にはITの活用が不可欠。日本工学院が培ってきたIT教育のノウハウと、星野リゾートのITに対する考え方を統合したカリキュラムで、ITに強い観光人材を育成します。

8th KATAYANAGI INSTITUTE
日本工学院専門学校
〒144-8655 東京都大田区西蒲田5-23-22
0120-123-351 https://www.neec.ac.jp/
@nihonkougakuin @neec_official @nihonkogakuin
ITカレッジ 情報ビジネス科
ホテル・観光コース 2年制
Produced by 星野リゾート